

(別紙2)

## 3. 助成対象事業の成果(結果)

## 【事業名】A事業 (①②の別:②)

ひょうごプラチナ企業創出事業

## 【目的(課題認識、方向性、目標、事業実施計画等)】

成長期にある県内中小企業の経営力強化を支援し、経営品質の向上を図るとともに中堅企業への成長を促すため、経営環境やSDGs、ステークホルダー分析、アクションプランの作成・実践指導まで行うセミナー等、経営者の資質向上に向けた取組を実施する。

さらに、優秀な企業を評価顕彰する認定制度を創設することにより、県内企業のモチベーションを高め、もって兵庫県経済の活性化を図っていく。

## 【成果(結果) (実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等)】

## 【2年目事業】

1. 改善実施: 実施企業数 21社
2. 専門家支援: 支援企業数 延べ 38社

## 【3年目事業】

1. ひょうごプラチナ企業認定: 認定企業数 9社
2. ひょうごプラチナ企業認定式典:
  - 日時: 1月31日(水) 14:00~
  - 場所: 神戸市産業振興センター10階  
レセプションルーム

- 課題: 1. 企業ニーズが想定以上に変化しており、その対応や事業再構築が課題。  
2. 当該事業による取組を県内企業に波及させていくための実効性ある取組が必要。

## 【評価(目標の達成度)、数値の検証等】

|                     | 計画       | 実績  |
|---------------------|----------|-----|
| 自己評価・外部評価実施企業数      | 10社程度    | 21社 |
| 経営計画策定・計画に基づく改善実施企業 | 10社程度    | 21社 |
| プラチナ企業認定            | 2~3社を見込む | 9社  |

## 【今後の進め方(波及効果を含めて)をどうするのか】

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために迅速に対応できる体制を構築する必要性を認識する経営者が増加した。

また、経営改善のための実践的取組として経営改善計画等の作成を専門家の支援を受けながら実践してきたことで、プラチナ企業認定を受けた企業は、明確に企業価値を高めることができた。

今後については、価値共創経営を実践できた優秀なプラチナ認定企業の事例を広く広報・発信することにより、被選定企業以外の県内企業に、シナジー効果を波及していくことで、県内企業のモチベーションを高め、もって兵庫県経済の活性化を図っていく。

## ② ひょうご中小企業SDGs支援事業

## 【目的(課題認識、方向性、目標、事業実施計画等)】

兵庫県では、SDGsにかかる取組を推進すると宣言した企業を集約・公表し、取組の可視化や企業価値の増大を支援する「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」を実施するとともに、取組の深化を促すため、取組内容を評価・認証する「ひょうご産業SDGs認証事業」を新たに立ち上げるなど、中小企業のSDGsを支援しており、県と連携して、普及啓発などの支援を行うことで、県内中小企業のサステナビリティへの対応を推進する。

## 【遂行状況(実施事業の内容・進捗状況、実施した結果生まれた新たな課題等)】

## (1) 国際フロンティア産業メッセ2023への出展

産業メッセに出展し、「ひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業」制度の周知等、SDGs

の普及啓発を行った。

開催日：9月7日～8日

会 場：神戸国際展示場

主な展示内容：

○SDGs関連製品、パネルの展示

- ・ パートナシップで支える地域資源を生かした就労弱者とのものづくり
- ・ 建築端材を活用した新たな商品開発
- ・ 自動で水田の給止水する「自動水管理システム」等

○動画放映（兵庫県公館で行われた「SDGs認証事業 創設記念フォーラム」の様態等）

○専門家による無料相談

(2) 広報パンフレットの制作

先進事例、支援メニュー等を紹介するパンフレットを制作し、SDGsの普及啓発を行った。

○紹介内容の主なもの

- ・ B級品の食材を活用した商品開発（フードロス解消）
- ・ 新鋭機導入による従業員の負担軽減（女性が働きやすい環境づくり）
- ・ ひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業フォーラムの内容 等

(3) ホームページの改修（SDGs広報の充実）及び運営

○課 題

宣言企業数等は、順調に増えている一方で、帝国データバンクの調査によれば、本県のSDGsに積極的な企業の割合は、44.1%と、低い水準にあることから、一層の普及啓発を図ることで、SDGsに取り組む企業を増やし、市場、サプライチェーン、人材確保における県内企業の優位性を高めていく必要がある。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

|      | 計画   | 実績(見込み) | 備 考                      |
|------|------|---------|--------------------------|
| 宣言企業 | 200社 | 1,024社  |                          |
| 認証企業 | 400社 | 153社    | ゴールド10、アドバンス28、スタンダード115 |

宣言企業数は目標の200社に対し、1,024社と目標値を大幅に上回った。認証事業は目標の400社に対し、85社の見込みに止まったが、事業初年度であり、制度の周知が進まなかった面もあるため、より制度の周知を進め、令和7年度末までの最終目標である認証企業数800社を目指す。

また、宣言企業数が目標数以上に増加（令和4～5年度で1,641件見込）していることから、宣言企業の最終目標を2,000社に増やし、更なる裾野の拡大を目指す。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」、「ひょうご産業SDGs認証事業」とも、最終目標である宣言企業数2,000社（令和6年度末）、認証企業数800社（令和7年度末）を目指し、SDGsの先進事例の紹介や県内支援機関の支援情報も含めて情報発信するなど、より一層の普及啓発に努める。

③ 新規投資・ビジネスマッチング促進事業

(1) 第2回オートモーティブワールド秋2023への出展

目 的：東京圏で開催される、クルマの先端技術・ソリューションの展示会である標記事業にブース出展し、来場した企業関係者に兵庫県内企業をPRし、ビジネスマッチングを図る。

時 期：令和5年9月13日(水)～15日(金)

場 所：幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬2丁目1）

成果等：展示会ブース来場者へのパンフレット等の資料配布・PR動画等の放映及び関心事項等の説明を行うとともに、アンケートを実施し、兵庫県内企業とのビジネスマッチングの要望等を確認した。後日企業訪問等を行い、フォローアップを実施した。

(2) モノづくりフェア2023への出展

目 的：福岡県で開催される、次世代モノづくりに関わる最新技術の展示会である標記事業にブース出展及び会場内でセミナーを実施し、来場した企業関係者に兵庫県内企業を

PRし、ビジネスマッチングを図る。

時 期：令和5年10月17日(水)～20日(金)

場 所：マリンメッセ福岡A館・B館（福岡県福岡市博多区沖浜町7-1）

成果等：展示会ブース来場者へのパンフレット等の資料配布・PR動画等の放映及び関心事項等の説明を行うとともに、展示会ブース来訪者、セミナー参加者へのアンケートを実施して、兵庫県内企業とのビジネスマッチングの要望等を確認した。後日企業訪問等を行いフォローアップを実施した。

**【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】**

目標：ビジネスマッチング5社

- ・「第2回オートモーティブワールド秋2023（千葉）」で名刺交換した企業に後日電話及びメールにて発注案件の確認や当財団事業の詳細を説明。情報収集のために来場していた県内企業は当財団が実施する2月の商談会に参加。発注企業に対しては発注案件を継続して確認中。
- ・「モノづくりフェア2023（福岡）」で名刺交換した企業に後日電話及びメールにて発注案件詳細を確認。その内一社は12月に開催した商談会に発注企業として参加、商談会にて県内ものづくり企業5社と面談。また、出展した企業5社に対してはブースを訪れ出展企業に興味を示した来場者情報を手交、後日出展企業から直接連絡を取り合ってもらった。

**【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】**

5年度事業の成果を踏まえ、内外の経済活動状況等を見ながら、ビジネスマッチング及び事務所等誘致の促進に向け、企業への直接的な働きかけの機会を拡大する方向で取り組む。